

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

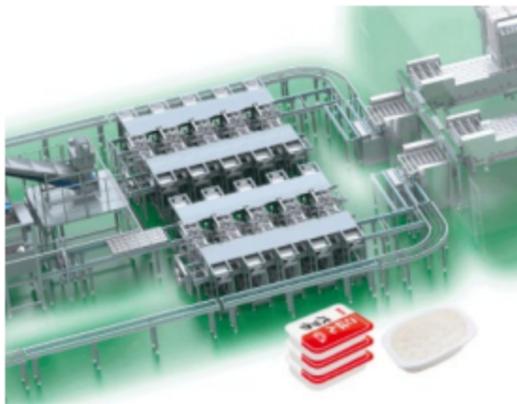
Sodick 加賀事業所内に食品機械の新工場増設

生産体制強化を目的に加賀事業所に食品機械の新工場 主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制を強化 米飯調理品や惣菜など新規食品加工分野へ事業領域拡大

食品加工機分野へ 事業領域を拡大

ソディックは、食品機械事業の生産体制強化を目的に、加賀事業所内に食品機械の新工場を増設することを決定した。主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制強化に加え、新たな食品生産加工機械分野に事業領域を拡大していく。

【生産する食品機械】



無菌包装米飯製造システム

【主要用途】無菌包装米飯、チルド米飯



製麺機

【主要用途】乾麺、生麺、茹麺、蒸麺、冷凍麺、調理麺、
L 麺、LL 麺、餃子皮、パスタ



惣菜殺菌 関連装置

【主要用途】弁当、ポテトサラダ、漬物、リンゴ



製菓関連装置

【主要用途】フライ麺スナック菓子、プレッツェル菓子、グラノーラ

また、新工場増設に合わせて既存工場も改修、米飯製造システムの組立エリア、ショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張する。

新工場の完成は 2023年11月予定

新工場は、2023年3月から着工し、2023年11月の完成予定している。
また、既存工場の改修は、2023年1

2月に着工し、2024年5月の完成を予定している。

新工場建設の 背景と目的

ソディック 加賀事業所内の食品機械工場は、生産品目として主力の製麺機、米飯製造システムに関連するミキサー、圧延機、茹槽、水洗槽、蒸機、殺菌装置、米飯装置など多岐にわたるユニットを製造する。付帯設備として事務所、研究室、ショールーム、資材倉庫なども完備する。

現状の課題として、大規模な製麺機や米飯製造システムは、工場面積の制約上、顧客先に納入設置後に最終動作確認となるケースが生じていることや、また米飯製造装置と製麺機の茹水洗槽といった大型ラインが必要となる生産が並行して行えないなどが課題になっている。

さらに、ショールームが狭く販売促進活動に支障が生じる、生産台数に対し購買エリアが狭く部品保管場所が不足、機械完成から出荷まで製品を仮置きするスペースが無く工場外に倉庫を借りることでの保管経費や運搬作業負担の増加といった様々な解決すべき課題があった。

同社では食品機械部門

の事業計画として2026年度売上150億円を掲げており、同目標達成に向け、今回、新工場増設と既存工場改修を行うことを決定、不足している組立エリアおよびショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張することにした。

また、主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制強化に加え、おにぎり、チルド米飯、惣菜、製菓等の生産加工機械分野にも事業領域を拡大する。

さらに、加賀事業所内食品機械工場の従業員は、地元雇用を中心に将来的には50人増員する計画で、地域の雇用創出にも貢献する。

同社は、引き続き国内外で増加が見込まれる食品機械事業の需要に対し、十分な供給能力を確保する。

また、長期経営計画「Next Stage 2 026~Toward Further Growth~」の達成に向けた事業拡大を目的とし、海外の食品機械生産拠点である中国・廈門工場とともに、供給体制をさらに強化していく。

■新工場の概要

◇所在地：株式会社ソディック 加賀事業所内。

◇住 所石川県加賀市宮町カ 1-1。
※加賀事業所内の既設食品機械工場(第11工場)西側。

◇工場面積
建屋外寸/延床面積：100m×42m/4200㎡(内トラックヤード608㎡)。

建設費用：約11.7億円を予定(※既存工場改修も含む)。

◇生産品目：食品機械>

◇建設計画

新工場着工：2023年3月。

完成予定：2023年11月予定。

◇既存工場

改修：2023年12月着工。

完成：2024年5月予定。